



新国立劇場

新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ

C.W.グルック

# オルフェオと エウリディーチェ

新制作

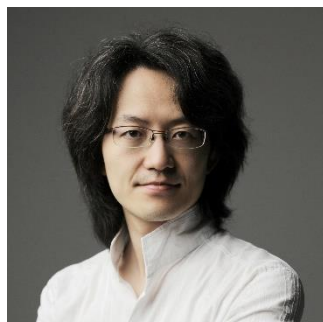
Orfeo ed Euridice

2022年5月19日(木)~5月22日(日)

会場:新国立劇場オペラパレス 2022年4月16日(土)前売開始



勅使川原三郎 ©Norifumi Inagaki



鈴木優人 ©Marco Borggreve

## バロック・オペラついに開幕！ 愛の絆と迷いの物語『オルフェオとエウリディーチェ』を 勅使川原三郎(演出)×鈴木優人(指揮)で上演！

地上に戻るまで決して振り向いてはならないとの条件のもと、亡くなった妻を連れ戻しに詩人オルフェウスが冥界へ降りて行く、ギリシャ神話のオルフェウス伝説をもとにした、グルックの代表作。バロック・オペラの中でも上演頻度の高い人気作を、深い美意識で世界に名を馳せる舞踊家勅使川原三郎の演出、新時代のバロック奏者、指揮者として獅子奮迅の活躍を見せる鈴木優人の指揮で新制作上演します。

オルフェオ役は、「カウンターテナーの王者」と評され、艶やかな声を武器に世界各地を飛び回るローレンス・ザッツ。エウリディーチェにドイツで活躍するソプラノのヴァルダ・ウィルソン、愛の神アモールに軽やかな美声と演技で魅了するソプラノ三宅理恵が出演するほか、アレクサンドル・リアブコ(ハンブルク・バレエ)、佐東利穂子ら勅使川原の信頼厚い選りすぐりのダンサーが出演。舞踊とオペラが一体となったスペクタクルを繰り広げます。

\* 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式を考慮した演出により上演いたします。

\* 招聘キャストにつきましては、出入国制限の状況により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

＜資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ＞

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi\_y2525@nntt.jac.go.jp

## バロック・オペラがついにオペラパレスへ登場！

大野和士芸術監督のラインアップの大きな柱、バロック・オペラから、音楽と演劇の融合を目指した“オペラの改革者”グルックの代表作『オルフェオとエウリディーチェ』を勅使川原三郎演出、鈴木優人指揮で上演します。

グルックは多くの作曲家が取り上げているギリシャ神話のオルフェウス伝説を題材に、バロック・オペラに特徴的な歌手の技巧を顕示するための装飾を抑え、オーケストラの役割を充実させて、劇的緊張に富んだオペラを完成させました。その演劇的な面白さにより、バロック・オペラの中でも群を抜いて今日の上演頻度の高い人気作となっています。

バロック・オペラのシリーズは第1弾として2020年4月に上演を予定していた『ジュリオ・チェーザレ』が惜しくも公演中止となったため、本作品が初の公演実現となります。

## 勅使川原三郎×鈴木優人、日本のアートシーンをリードする二人の才人のコラボレーション

演出・振付・美術・衣裳・照明は、深い美意識で世界中にその名を轟かす振付家・ダンサー・演出家の勅使川原三郎。指揮は新時代のバロック奏者として、そして指揮者としてもプロデューサーとしてもマルチに活躍する鈴木優人が新国立劇場の指揮台へ初めて立つこととなります。日本のアートシーンをリードする二人のコラボレーションは、企画発表以来、内外から大きな注目を集めてきました。出演者には、オルフェオ役に世界的カウンターテナーのローレンス・ザッツ、エウリディーチェにヴァルダ・ウィルソン、アモーレに進境著しいソプラノ三宅理恵が揃うほか、勅使川原のアーティストック・コラボレーターとして創作を共にする佐東利穂子、ハンブルク・バレエのアレクサンドル・リアブコらがダンスに出演。「オペラが詩になることを目指す」「ある種の抽象化された詩こそが命であるオペラを作りたい」という勅使川原三郎の導く『オルフェオとエウリディーチェ』の世界に、ぜひご期待ください。

### <「オルフェオとエウリディーチェ」あらすじ>

【第1幕】亡き妻エウリディーチェの墓前で、何とか生き返らせようと祈りを捧げるオルフェオの前に、愛の神アモーレが現れる。アモーレはエウリディーチェの復活の可能性を示唆し、全能の神ゼウスの命令として、「オルフェオの歌で地獄の番人を慰めること」「地上に連れ戻すまでは決して彼女の顔を見てはならない、振り返れば彼女は永遠に失われる」と伝える。

【第2幕】冥界の入口には死霊や復讐の女神が待っている。オルフェオは歌で復讐の女神を慰める。エリゼの園で妖精たちと歌っているエウリディーチェを発見したオルフェオは妻の手を取り、彼女を覗かないようにして地上へ向かう。

【第3幕】地上へ向かう暗い途上で、エウリディーチェは夫が自分を見ようとしないうちに不安を募らせる。「なぜ私を見ないのか」と詰問する妻とゼウスの命令との間で煩悶するオルフェオは、ついに振り返って妻を見てしまう。その瞬間エウリディーチェは絶命する。絶望したオルフェオが自ら命を絶とうとするとアモーレが現れ、「真の愛が示された」とエウリディーチェに命を吹き込む。オルフェオとエウリディーチェは神に感謝する。

### <主要キャスト・スタッフプロフィール>

#### 【指揮】鈴木優人

SUZUKI Masato

東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。第18回齋藤秀雄メモリアル基金、第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。パッサ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者/クリエイティブ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。指揮者としてNHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演。2017、20年には鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズを制作、上演。モンテヴェルディ：歌劇『ポッペアの戴冠』(17年)、ヘンデル：歌劇『リナルド』(20年)はバロック・オペラの新機軸として高く評価され、『リナルド』は第19回佐川吉男音楽賞を受賞。作曲家としても数々の委嘱を受けると同時に、J.S.バッハBWV190喪失楽章の復元や(Carus)、モーツァルト『レクイエム』の補筆・校訂(Schott Music)が高い評価を得ている。メディアへの露出も多く、NHK-FM「古楽の楽しみ」レギュラー、テレビ朝日「題名のない音楽会」にもゲストとして度々出演している。録音はBCJとのJ.S.バッハのチェンパロ協奏曲集(BIS)、タメスティとのデュオ(Harmonia Mundi)など多数。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、舞台演出、企画プロデュース、作曲とその活動に垣根はなく各方面から大きな期待が寄せられている。新国立劇場ではコンサート・オペラ『ポッペアの戴冠』(パッサ・コレギウム・ジャパン共催、09年)に出演、田村吾郎氏と共に演出を手がけた。



#### 【演出・振付・美術・衣裳・照明】勅使川原三郎

TESHIGAWARA Saburo

ダンサー、振付家、演出家。クラシックバレエを学んだ後、1981年より独自の創作活動を開始。85年、宮田佳と共にダンスカンパニーKARASを設立。以降、KARASと共に世界中の主要なフェスティバルや劇場から招聘され毎年公演を行う。独自のダンスメソッドを基礎に美術と音楽の稀有な才能によって創作をつづける。身体と空間を質的に変化させる唯一無二な身体表現は高い評価と支持を得て、80年代以降、フラン

クフルトバレエ団、NDT やパリ・オペラ座バレエ団(3創作)を始めとしたヨーロッパの主要バレエ団に委嘱振付、エクサンブロヴァンス音楽祭(『アシスとガラテア』)、フェニーチェ歌劇場(『デイドとエネアス』)等でのオペラ演出、映像やインスタレーション作品の製作等、芸術表現の新たな可能性を開くアーティストとして創作依頼が多数。2015年にはパリ・シャンゼリゼ劇場の委嘱により新作オペラ『ソラリス』を藤倉大と共に創作、台本・演出・美術・照明・衣裳を担当した。13年に東京・荻窪に活動拠点として劇場カラス・アパラタス開設、年間を通して「アップデートダンス」公演で新作を発表している。14年度から多摩美術大学演劇舞踊デザイン学科教授。20年から愛知県芸術劇場芸術監督に就任。07年ベッシー賞、芸術選奨文部科学大臣賞、09年紫綬褒章、17年フランス芸術文化勲章オフィシエ、22年ヴェネツィア・ビエンナーレダンス部門金獅子功労賞他、国内外での受賞多数。新国立劇場でオペラを演出するのは本作品が初となる。



### 【エウリディーチェ】ヴァルダ・ウィルソン(ソプラノ)

Valda WILSON

オーストラリア出身。シドニー音楽院で学び、数々の賞や奨学金を獲得してロンドンのオペラスタジオで研鑽を積む。ザクセン州立歌劇場若手専属歌手のメンバーとなった後、ザルツブルク音楽祭、ヴェルビエ音楽祭の若手歌手プログラムにも参加。オルデンブルク歌劇場専属歌手を経て、17/18シーズンよりザールブリュッケン歌劇場専属歌手。これまでに、ザルツブルク音楽祭『子供のための魔笛』パミーナ、ナポリ・サンカルロ歌劇場『ルサルカ』、ヴェルビエ音楽祭『セビアの理髪師』ロジーナ、ザクセン州立歌劇場『魔笛』パミーナとパパゲーナ、ザルツブルク音楽祭『カルミナ・ブラーナ』、オルデンブルク歌劇場『ファルスタッフ』アリーチェ、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『メリー・ウイドウ』ハンナ・グラヴァリ、『夏の夜の夢』ヘレナなどに出演している。ザールブリュッケン歌劇場では『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『ソラリス』ハリー、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、『椿姫』ヴィオレッタ、『ファウスト』マルグリート、『ばらの騎士』元帥夫人、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『ファウスト』マルグリート、『メリー・ウイドウ』ハンナ・グラヴァリ、『ドン・カルロ』エリザベッタなどに出演している。新国立劇場初登場。



### 【オルフェオ】ローレンス・ザッゾ(カウンターテナー)

Lawrence ZAZZO

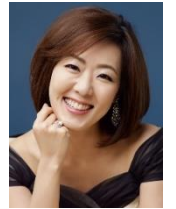
アメリカのカウンターテナー。ロンドンの王立音楽院在学中にブリテン『夏の夜の夢』オーベロンでデビュー。同役はその後カナディアン・オペラ・カンパニー、エクサンブロヴァンス音楽祭、ハンブルク州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場のイリーナ・ブルックの新演出で出演している。近年では、モネ劇場、イングリッシュ・ナショナル・オペラ、ザクセン州立歌劇場、パリ・オペラ座の『ジュリオ・チェザレ』タイトルロール、バイエルン州立歌劇場『ポントの王ミトリダーテ』ファルナーチェ、メトロポリタン歌劇場『ジュリオ・チェザレ』トロメオなど世界の主要劇場のほか、イングリッシュ・ナショナル・オペラ『ラダミスト』タイトルロール、ウェルシュ・ナショナル・オペラ『オルランド』、フランクフルト歌劇場『タメルラーノ』タイトルロール、英国ロイヤルオペラのオラトリオ『ソロモン』タイトルロールに出演。今シーズンはザルツブルク聖霊降臨祭音楽祭及びザルツブルク音楽祭のヘンデルのオラトリオ『時と悟りの勝利』、スコティッシュ・オペラ『夏の夜の夢』オーベロンなどに出演。新国立劇場初登場。



### 【アモーレ】三宅理恵(ソプラノ)

MIYAKE Rie

東京音楽大学卒業、同大学院修了。バード音楽院特待奨学生修士課程修了。ドーン・アップショウに師事。これまでに小澤征爾音楽塾『カルメン』フラスキータ、日生劇場『フィデリオ』マルチェリーネ、パーヴォ・ヤルヴィ指揮NHK交響楽団『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、藤倉大作曲『ソラリス』(日本初演)ハリー、東京二期会『ファルスタッフ』ナンネッタなどに出演。オペラ以外にも、F・ルイージ指揮「復活」、小澤征爾指揮「第九」や「マエストロ・オザワ80歳バースデー・コンサート」に唯一の日本人女性ソリストとして出演したほか、フォーレ「レクイエム」、シューベルト「ミサ曲第5番 変イ長調」、モーツァルト「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、カール・ジェンキンス「レクイエム」、アンドリュウ・ロイド・ウェバー「レクイエム」など宗教曲のソリストとして活躍。新国立劇場では『パルジファル』花の乙女、鑑賞教室『愛の妙薬』ジャンネッタ、『ジークフリート』ハイライトコンサート「森の小鳥」に出演している。21年4月には『夜鳴きうぐいす』タイトルロールに、夏には『Super Angels スーパーエンジェル』にも出演。22年4月には『魔笛』パパゲーナにも出演予定。二期会会員。



新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ  
 C.W.グルック **オルフェオとエウリディーチェ** 新制作  
 Christoph Willibald von GLUCK / Orfeo ed Euridice  
 全3幕〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】2022年5月19日(木)19:00／21日(土)14:00／22日(日)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:27,500円・A:22,000円・B:15,400円・C:8,800円・D:5,500円・Z:1,650円

【前売開始】2022年4月16日(土)

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式を考慮した演出により上演いたします。

※招聘キャストにつきましては、出入国制限の状況により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

指揮 ..... 鈴木優人  
 Conductor SUZUKI Masato  
 演出・振付・美術・衣裳・照明 ..... 勅使川原三郎  
 Production, Choreography,  
 Set, Costume and Lighting Design TESHIGAWARA Saburo  
 アーティストティック・コラボレーター ..... 佐東利穂子  
 Artistic Collaborator SATO Rihoko  
 舞台監督 ..... 高橋尚史  
 Stage Manager TAKAHASHI Naohito

エウリディーチェ ..... ヴァルダ・ウィルソン  
 Euridice Valda WILSON  
 オルフェオ ..... ローレンス・ザッツ  
 Orfeo Lawrence ZAZZO  
 アモーレ ..... 三宅理恵  
 Amore MIYAKE Rie

ダンス ..... 佐東利穂子、アレクサンドル・リアブコ、高橋慈生、佐藤静佳  
 Dancers SATO Rihoko, Alexandre RIABKO, TAKAHASHI Joe, SATO Shizuka

合唱指揮 ..... 富平恭平  
 Chorus Master TOMIHIRA Kyohei  
 合唱 ..... 新国立劇場合唱団  
 Chorus New National Theatre Chorus  
 管弦楽 ..... 東京フィルハーモニー交響楽団  
 Orchestra Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督 ..... 大野和士  
 Artistic Director ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/orfeo-ed-euridice/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

\* 2席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

\* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。\*未就学児入場不可。

\* 新国立劇場における新型コロナウイルス感染症拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのご願い

[https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23\\_017576.html](https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html)